

ご挨拶



トーナメントディレクター

濱 弘一

<東京消防庁勤務>

第24回関東実業団対抗テニストーナメント東京大会（ビジネスパル・テニス東京大会）の開催にあたり、ご挨拶申しあげます。

東日本大震災から1年、被災地では復興に向け大きく前進し始めています。この震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福を、心からお祈り申しあげます。

さて、「第65回東京実業団テニスリーグ戦（平成24年度春季リーグ戦）」が4月1日から開始されようとしています。この本格的なテニスシーズンの幕開けを前に、選手の皆様の調整は順調に進んでおりますでしょうか？

このビジネスパル・テニス東京大会の最大の特徴は、リーグの垣根を越えた試合ができると言うことです。トーナメント表を見て、最初の対戦相手が上位リーグに位置しているからといって“がっかり”してあきらめたり、下位リーグに所属しているチームだから“安心”してしまったり、それぞれのチームで思いを巡らせていることと思います。しかし、ちょっと待ってください！この大会は実力差以外の目に見えない「何か」があります。選手の皆様には、最後の1ポイントまであきらめずに、最善を尽くしていただきたいと思います。

また、本大会は、コンソレーションも同時に進行する（残念ながら、シードチームにはコンソレーションは有りません。）という、東京都テニス協会実業団委員会では珍しい大会でもあります。残念ながら1回戦で敗退してしまったとしても、コンソレーションにおいて「優勝」する…という栄誉に輝く場合もあります。ぜひとも、ラストショットまで、集中力を切らさずに頑張っていただきたいと思います。

なお、本大会の「男子優勝及び準優勝」及び「女子優勝」の3チームは、東京都テニス協会の代表として、7月7日(土)・8日(日)に開催される「関東大会」(千葉県)への出場権が与えられ、更にその大会において上位に勝ち進みますと、8月24日(金)～26日(日)に開催されます「全国大会」(広島市)へ出場していただくことになります。本大会に出場するチームの皆様は、目標を高く持っていただき、トーナメントに挑んで頂きたいと思います。

さて、3月1日から7日まで全国的に「春の火災予防運動」が実施され、東京消防庁管内においては「守りたい 防火の心で みんなの笑顔」(作者 佐藤 晴菜さん(北区))の防火標語のもと、様々な行事等が繰り広げられます。全国的な火災の状況ですが、残念なことに一般住宅からの火災が増え、特にお年よりの方々が多く亡くなられている現状です。現在、東京消防庁では、ご自宅からの火災の発生をいち早く知るための手段の一つとして、「住宅用火災警報器」の設置を更に積極的に推進しております。「住警器（じゅうけいき）」と略して呼ばれることが多いのですが、火災を知らせる住宅用の警報器具のひとつです。この「住警器」と言う言葉を聞いたり見たりして、ちょっとでも気になるようでしたら、テニスで汗を流した後でも結構です、最寄りの消防署に行って話しを聞いてみてください。

終わりに、本大会にご支援、ご協力を賜りましたブリヂストンスポーツ株式会社様及び関係各位の皆様に対しまして、厚く御礼を申しあげます。